



玉島っ子だより

第15号 令和7年3月3日
文責：校長 松尾 信広

【学校教育目標】 **たくましく まごころいっぱい しっかり考え まなびあう子どもの育成**

☞ 心温まる「6年生ありがとう集会」となりました！(^-^)

去る2月28日(金)に「6年生ありがとう集会」を行いました。結果を先に言いますと、「ハッピーサイクル」が回りに回った、本当に心温まる大成功の集会となりました！

この日からさかのぼること1か月ほど前の1月23日(1・2・3！何かを始めるにはいい日ですね)に、この集会に向けての話し合いを行いました。例年は代表委員会を開いて、児童委員と各クラスの代表者で進めていたのですが、今年度は「児童総会」として、1～5年生全員が集まって話し合いを行いました。

これも小規模校ならではの結束の姿だと思います。議題は、「6年生にこれまでの感謝の気持ちを伝え、会を盛り上げて6年生が最後まで笑顔で楽しめる会を開こう」でした。慣れない形での話し合いとなりましたが、児童委員さんが一生懸命に会を進行し、それに応えるように素晴らしい意見が飛び交いました。玉島っ子らしい優しさと思いやりの詰まった総会だったことを覚えています。

そして当日、6年生保護者さんや学校評議員さんが見守る中、6年生が入場し、大拍手の中で集会が始まりました。まず、1・2年生、3年生、4年生、5年生の出し物が披露されました。ダンスあり、歌あり、お礼の言葉あり、劇あり、フラッグあり、レポートありと、「6年生に楽しんでもらうんだ！」という気持ちに溢れる出し物が続きました。準備や練習をするときも、きっとその思いをもって取り組んでいたのだと思います。そんな1～5年生の思いを感じると同時に、6年生は本当に愛されているんだなと改めて感じました。そして、6年生に寄せ書きをプレゼントした後、6年生がお返しに、「未来の同窓会のときに玉島小での思い出を語る」という設定で、小学校生活を振り返ってくれました。何気ない生活のこの場面が、6年生の心に焼き付いていたんだなと、胸が熱くなりました。そして、最後のお辞儀の深さに、これまでの感謝の気持ちが込められていて、さらに胸熱でした。

この1時間は、在校生と卒業生の絆の深さを改めて感じることでできた、素晴らしい時間となりました。これで、今年度のゴールに向けて全員が最後のスタート位置にそろいました。11日後に控えた卒業式に向けて、21日後に迎える修了式に向けて、子ども達が元気よくラストスパートをかけることができるように、全職員で応援していきたいと思います。この行事の開催にあたり、出し物の準備やお子さんへの励ましなど本当にありがとうございました。今後とも、どうぞよろしくお願いたします。(今号は語り過ぎたので集会の話題のみになってしまいました m(__)m)

